

## 酒井 裕一 さん

### 1. 初めに

苦節6年、やっと念願の合格を手にすることが出来ました。これも偏に、前田先生はじめ MMC の先生方の厳しくかつ懇切丁寧で情熱あふれるご指導の賜であると感謝致しております。

12月12日の発表当日、診断協会へ掲示を見に行き、我が目を疑いました。何と自分の番号があるではありませんか。2度3度と確認し、地下鉄の駅まで来て、もう一度見間違えではないかと再度協会まで引き返し受験票と照らし合わせ、それでも信じられず、自宅に帰ってホームページで確認し、それから MMC へ報告して次第です。

中居先生の、「良かったあ！良かったですね！！続けてやってきて良かったですね！！！」という祝福の声に、「ああ、合格したんだ！」という実感がジワーっと湧いてきました。また、診断協会の統計資料を見ますと、今年の最年長合格者は65歳とあり、「オレが最年長かよ！」と2度ビックリでした。

### 2. 受験経過

- ・2009 年 一次試験 合格科目 経済・財務・運営  
不合格科目 経営・法務・情報・中小
- ・2010 年 一次試験 合格科目 中小  
不合格科目 経営・法務・情報
- ・2011 年 一次試験 合格科目 情報  
不合格科目 経営・法務
- ・2012 年 【この年より MMC へ】  
一次試験 やっと合格(経済・財務・経営・運営・法務)  
二次試験 B・D・B・A B (C・D・C・D)
- ・2013 年 一次試験 保険受験 情報のみ合格(但し、1 日目は受験せず)  
二次試験 C・B・B・C B (A・A・A・D)
- ・2014 年 一次試験 6科目合格  
二次試験 合格 (C・C・C・C)

\* ( )内は受験直後の自分の評価

### 3. MMC へ

某大手受験校での還暦勉強仲間より、「MMC へ行け！絶対に合格できる。」というアドバイスに2012 年より最初は半信半疑で通い始めました。講義を受けるにしたがい、MMC の合格率の高さが理解できました。

- 考え方が明快で分かりやすい
- 少人数制で、個々人にあったアドバイスがすぐにもらえる
- 講師陣が一枚岩である 等々

いわゆる、“ロコミ”で MMC を知りましたが、勧めてくれた友人に感謝・感謝です。

#### 4. 一次試験

某大手受験校の一次模試で成績上位者に名を連ね、一次はすでに受かったような気になっていました。そして、“一次試験に合格しても、二次試験で不合格なら同じ”という考えで、一次直前でも二次対策に時間を割き、中途半端な試験対策で一次の合格点に2点・3点不足するという同じ失敗を2010年・2011年と2年続けてしまいました。2014年は、“一次に合格しなければ、二次にはチャレンジできない”という思いのもと、MMCの第2回模試終了後(5月中旬以降)は、6科目も残っていたこともあり、一次対策に専念し、

- まずは、足切り回避(6科目とも40点以上確保)
- 4勝(財務・運営・中小は確実に、経営か法務のどちらかを獲る)2敗を目指す
- 苦手の経済の不足分を得意の財務で補う

を目標に、基礎的な問題を何度も繰り返しやりました。

結果は、

- 不覚にも得意のはずの財務がギリギリ40点(冷や汗！)
- 4勝(経済76点・経営62点・運営68点・中小74点)2敗(財務40点・法務48点)は達成
- 当初の思惑とは逆に、財務の不足分を経済で補うという結果となる

本試験では何が起こるか分からないことを実感すると同時に、一段、一段、着実に上がることの大切さを再認識した次第です。一方、一次本試験終了直後にMMCの第3回模試がありましたが、思っていたほど二次のスキルは落ちなかったと感じました。

#### 5. 二次試験

2014年度二次試験は

事例Ⅰ 何を書いていいかさっぱり分からなかったが、とりあえず全問とも全マス埋める。

事例Ⅱ デシル分析???2年前のコーズリレイテッドマーケティングの悪夢の再来か！

事例Ⅲ いつもと同じ問題の作りと思うも、160字2問に苦戦！

事例Ⅳ 3問目で個別経費を引くと赤字になる。どうすればいいのだ！頭真っ白！

といった感じで、試験後の自分の評価は“C”でもう1年を覚悟していましたが、以外にも合格を勝ち取ることができました。

そこで、3回の二次試験挑戦で感じたことは、

(1)最後まで絶対諦めない！

2014年の自己評価を見てもわかりますように、今年は不合格とばかり思っていましたし、事例Ⅱが終わった段階で、もう帰ろうかと思つたくらいです。しかし、MMCの先生方の「絶対、最後まで諦めるな！きっと、ほかの受験生も苦戦している」と言われていた言葉を思い浮かべながら、事例Ⅳまで泣く泣く頑張りました。

(2)相対評価を実感！

2013年のⅠ・Ⅲは自分では自信がありA評価とと思っていましたら、C・B・Bの評価ではありませんか。思わず、「何故だ！」と叫びました。逆に、2014年はC評価を覚悟していたのですが、思いがけず合格となりました。

再現答案の中居先生のコメントは『MMC の基準から考えると、与件の活用が少ない気がしますが、他者の解答などと比べると十分に良くできているとも感じます。……』とありました。

問題の難易度の差ではないかと思っております。絶対評価ではなく相対評価であることを、実感致しました。

### (3)現場対応力を磨け！

MMC でご指導頂いた手法で50点は確保できると思いますが、“敵もサルもの、ヒツカクもの”で、出題者は毎年少しずつひねってきています。これにどう対応し、10点上乗せできるかが合否の分かれ目ではないでしょうか。久保先生から、「作問者は、何も難しいことなど期待していませんよ。“この記述から、私はこう思いました”と、誰もが知っている簡単なことを書けばいいのですよ。」の助言に、目からウロコを感じました。昨年までは、各問いに個々に解答を考え、いわゆる“木を見て森を見ず”の状態、全体の流れがチグハグになっていたのではと反省し、文章全体を俯瞰しながら“題意は何なのか、課題は何なのか”を頭に入れながら解答するように心掛けたつもりです。

## 6. 最後に

“継続は力なり“

前田先生の「診断士の試験は続ければ合格できますよ。」という言葉に励まされ、お陰様でここまでやってくることができました。

「もう一回だけ挑戦する」という私に、全面協力をしてくれた家族に感謝すると同時に、これがゴールではなくスタートラインであることを肝に銘じ、少しでも社会に貢献できる診断士を目指していこうと決意も新たにしております。

以上